

ドイツ連邦共和国

# ブランデンブルグ州との 交流の概要

<平成11年（1999年）8月26日姉妹提携>



埼玉県マスコット「コバトン」  
（姉妹友好州省・ブランデンブルグ州バージョン）

彩の国  埼玉県

# 目 次

1	ブランデンブルグ州の概要	1
2	ドイツ連邦共和国の地図	4
3	ブランデンブルグ州との交流のあゆみ	5
4	コト布斯第4ギムナジウムの紹介	11
5	2022(令和4)年度 交流事業実施実績	12
6	2023(令和5)年度 交流事業予定	13
7	関係機関一覧	14

# ブランデンブルグ州の概要

## 1 位置

ドイツ北東部、旧東ドイツに属していたブランデンブルグ州は、首都ベルリンを取り囲むように位置しています。北部はメクレンブルグ・フォアポンメルン州、東部はポーランド、南部はザクセン州、西部はザクセン・アンハルト州とそれぞれ接しています。

## 2 面積

29,654 km<sup>2</sup>（埼玉県の約7.8倍） 旧東ドイツの州の中では面積最大

## 3 人口

約2,531千人（2020年、埼玉県人口7,328千人（2023年2月）の約35%）

## 4 州都

ポツダム市（人口180,334人[2019年]）

## 5 地勢

湖水と河川で89,000km<sup>2</sup>を占め、ドイツの中でも最も水の豊かな州となっています。また、面積の3分の1は森林で、スポーツ、レクリエーション施設の開発も行われています。

## 6 気候

大陸性気候と大西洋型気候の境界にあり、非常に変わりやすい気候となっています。  
（州都・ポツダム市）

平均気温：7月 18.9℃（2018年） 1月 -0.2℃（2018年）

年間降水量 591.4mm（2018年）

## 7 歴史

1415年 ホーエンツォレルン家の城主がブランデンブルグ選帝候に就任。

1618年 30年戦争が勃発。

1701年 大選帝候の嗣子がプロイセンの王位に就任。

18世紀 フリードリヒ2世がプロイセン大王となり領土を拡張、ポツダムにサンサーシ宮殿を造営。

1815年 ブランデンブルグ州が誕生。

1920年 ベルリンがブランデンブルグ州から分離され、「大ベルリン」として独立。

1947年 プロイセン国家が解体、マルク・ブランデンブルグ州が設立。

1952年 州を廃止、3つの県に分割。

1990年 東西ドイツが統一、ドイツ連邦共和国の一州に帰属。

## 8 政治・行政

### (1) 州議会

議員定数は88議席、任期は5年です（2022年2月末現在）。

社会民主党（SPD）	25議席
ドイツのための選択肢（AfD）	23議席
キリスト教民主同盟（CDU）	15議席
左派党（Die Linke）	10議席
緑の党（Die Grünen）	10議席
その他	5議席

### (2) 州政府

議院内閣制を採っており、州首相は、選挙で最大勢力となった政党から州議会において選出され、州内閣の閣僚は州首相によって任命されます。

首相 ディートマー・ヴォイトケ氏（2013年8月就任）

2009-2010年 ブランデンブルグ州議会SPD議員団長

2010-2013年 ブランデンブルグ州内務大臣

2013年8月～ ブランデンブルグ州首相（現在3期目）

## 9 経 済

州内総生産 約743億ユーロ（約10兆5,506億円）（2019年）

1人当たりGDP 29,541ユーロ（約419万円）（2019年）

※レートは1ユーロ≒142円（2023年3月現在）で計算

（参考）埼玉県（2018年度）

県内総生産（名目） 23兆2,541億円

1人当たり県民所得 304万7千円

## 10 産 業

ベルリンと共に首都圏を形成しており、金属製造・加工処理やエネルギー・燃料工業、食品や木材/製紙などが主要産業です。また、バイオテクノロジーや医療技術、情報通信技術など、ハイテク産業分野も伸びてきています。

### (1) 鉱業

ポーランド国境に近いブランデンブルグ州第2の都市コトブスでは、褐炭が採掘され、電力・ガスなどのエネルギー関連産業に大きく関わっています。

### (2) 農業

主要農産物は、ライ麦、ジャガイモ、小麦、てんさいで、ベルリン周辺地域では、果物や野菜も栽培されています。

### (3) 工業

主要工業地域は、鉄鋼生産のアイゼンヒュッテンシュタット、化学工業・エネルギー産業のコトブスなどです。

## 11 教育

義務教育期間は6歳から18歳までの12年間です。

小学校は4年制で、その後本課程校―職業教育学校へと進む者、実科学校―専門学校へと進む者、9年制のギムナジウム（ドイツの伝統的な高等学校）へと進む者に分かります。ギムナジウムにおいては、卒業年度に卒業試験（アビテュアー）があり、学生は、その試験に合格すると大学進学する資格を手にすることが出来ます。大学入学に特別な入学試験はないですが、いくつかの各部（医学部など）では成績による入学制限がかけられており、卒業試験と最後の2年間の成績を総合評価して入学許可がおります。大学はポツダム大学、コトブス工科大学などの総合大学と、ブランデンブルグ専門大学などの専門大学があります。

## 12 遺跡・観光

州都ポツダムにあるサンサーシー庭園には、18世紀にフリードリッヒ大王統治下において始まり、19世紀にフリードリッヒ・ヴィルヘルム4世により拡張された宮殿と庭園のアンサンブルが形成されています。サンサーシー宮殿（写真右）は、1747年に完成し、庭園の中心的建造物となっています。



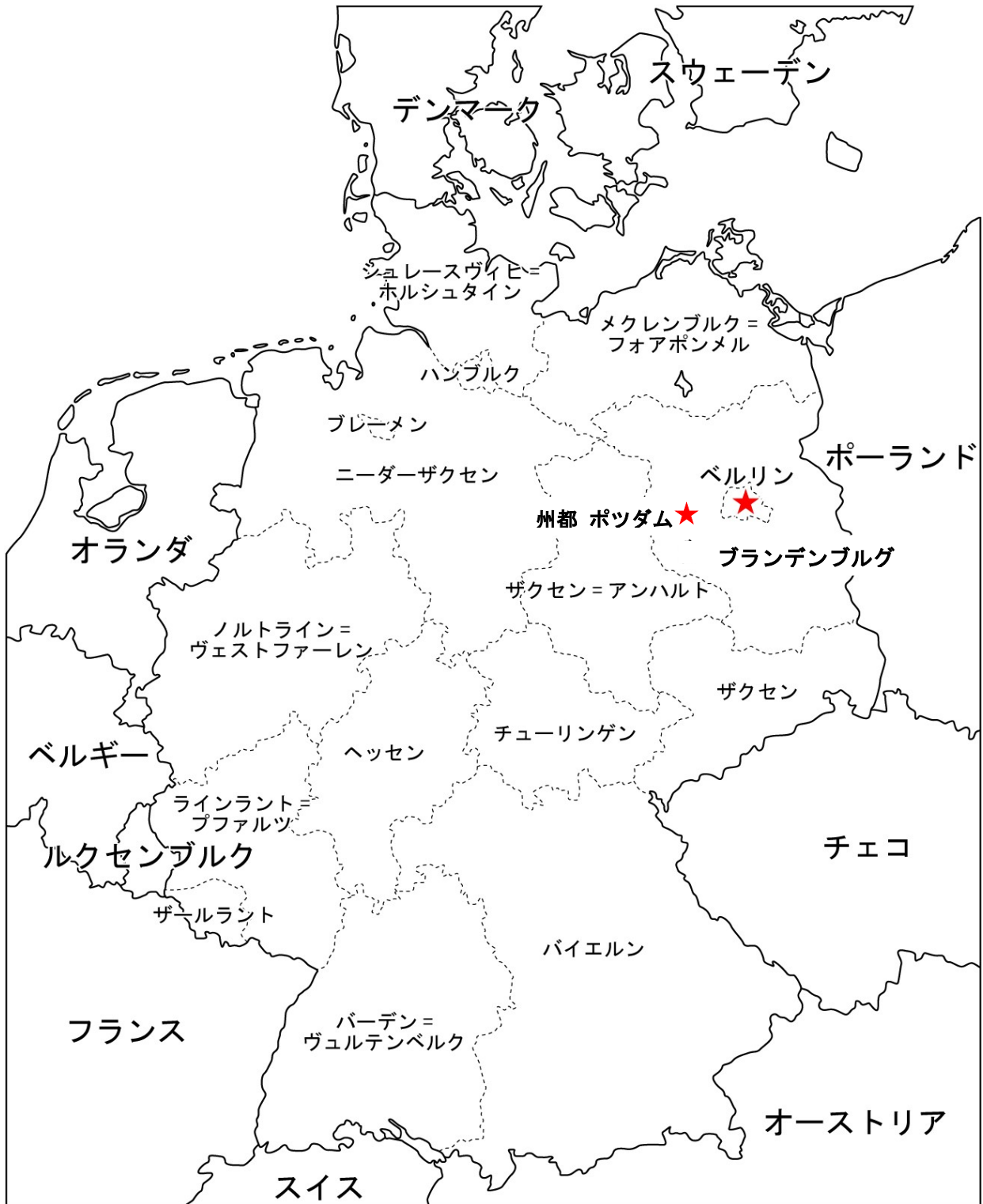
これらの宮殿や庭園は、「ポツダムとベルリンの宮殿群と公園群」として、世界遺産にも登録されています。

また、歴史的旧市街のあるヴェルダー、コリーン・シト一派修道院、温泉保養地のバート・ザーローなども有名です。

## 13 埼玉県内の自治体とドイツの自治体の交流

自治体名	提携先	提携年月日
埼玉県	ブランデンブルグ州	1999(平成11)年 8月26日
川越市	オッフェンバッハ市（ヘッセン州）	1983(昭和58)年 8月24日
入間市	ヴォルフラーツハウゼン市（バイエルン州）	1987(昭和62)年10月14日
新座市	ノイルッピン市（ブランデンブルグ州）	2003(平成15)年11月 1日

# ドイツ連邦共和国の地図



## ブランデンブルグ州との交流のあゆみ

- 1993(平成5)年4月 ブランデンブルグ州都市開発・住宅都市・交通大臣一行(6名)が来県、知事を表敬訪問。
- 1993(平成5)年10月 埼玉県ヨーロッパ姉妹都市視察団(3名)が交流の可能性を調査するため、ブランデンブルグ州を訪問。
- 1995(平成7)年1月 ブランデンブルグ州開発環境保護省次官及び住宅都市・交通省次官が、東京・ベルリン会議出席のため訪日、来県。知事表敬訪問。
- 1995(平成7)年3月 ベルリンで開催された「第2回気候変動に関する自治体リーダーサミット」に出席した本県環境部長が、ブランデンブルグ州の開発環境保護省次官と会談。
- 1995(平成7)年5月 知事を団長とする埼玉県ヨーロッパ親善訪問団(9名)がブランデンブルグ州を訪問、州首相との間で「友好の確認書」に調印。
- 1995(平成7)年8月 議会欧州行政視察団(7名)がブランデンブルグ州議会及びブランデンブルグ州政府を訪問。
- 1995(平成7)年9月 ブランデンブルグ州経済大臣秘書官が来県、県政の概要調査の後、県内の史跡及び企業を視察。
- 1995(平成7)年9月 ブランデンブルグ州経済振興公社総裁が来県、交流事業について意見交換。
- 1995(平成7)年9月 ブランデンブルグ州コトブス市のギムナジウム校の校長が来県、県立大宮高校を訪問。
- 1995(平成7)年10月 本県の海外行政事情視察団(2名)がブランデンブルグ州政府を訪問、介護保険制度等について調査。
- 1995(平成7)年10月 本県で開催した「第3回気候変動に関する世界自治体サミット」にブランデンブルグ州政府職員(2名)を招へい、サミット参加後県内を視察。
- 1995(平成7)年11月 住宅都市部の海外都市計画先進事例調査団がブランデンブルグ州を訪問、都市計画関係職員と意見交換。
- 1996(平成8)年1月 ブランデンブルグ州経済振興公社の担当者が来県、交流事業について意見交換。
- 1996(平成8)年2月 交流事業協議団(4名)がブランデンブルグ州を訪問、コトブス第4ギムナジウムや州政府担当者と交流事業について意見交換。
- 1996(平成8)年8月 (財)埼玉県国際交流協会の親善訪問団(30名)がブランデンブルグ州を訪問、州政府への表敬や現地交流団体との交流会を実施。
- 1996(平成8)年9月 本県の青年の代表(16名)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイや現地青年との交流、意見交換を実施。
- 1996(平成8)年9月 本県の高齢者福祉関係者(9名)がブランデンブルグ州を訪問、州の介護保険制度等を調査。
- 1996(平成8)年9月 各業種からなる経済視察団(20名)がブランデンブルグ州を訪問、経済関係者との意見交換や経済状況の視察を実施。
- 1996(平成8)年10月 本県の土木部職員(6名)がブランデンブルグ州を訪問、州の道路交通事情等を視察。
- 1996(平成8)年11月 県立大宮高校とブランデンブルグ州コトブスのコトブス第4ギムナジウムが姉妹校提携を締結。

1997(平成9)年2月	大宮そごうにおいて「ブランデンブルグ・フェア」を開催、オープニングに在日ドイツ臨時代理大使が出席。
1997(平成9)年5月	ブランデンブルグ州の住宅建設業関係者(2名)が来県、住宅都市部職員と日本における住宅輸入について意見交換。
1997(平成9)年7月	ドイツ鉄道関係者(3名)が来県、10月にポツダムで開催される「鉄道を主体とした地域開発」に関するシンポジウムに、本県からの講師派遣を依頼。
1997(平成9)年7月	ブランデンブルグ州経済振興公社総裁が来県、交流事業について意見交換。
1997(平成9)年8月	県立大宮高校の教員・生徒(17名)がブランデンブルグ州を訪問、シュトルペ ブランデンブルグ州首相を表敬訪問したほか、コト布斯第4ギムナジウム校等を訪問。
1997(平成9)年8月	オーデル川流域の洪水災害に対して、本県からブランデンブルグ州政府へ救援金200万円を贈呈。贈呈は、姉妹校交流でブランデンブルグ州を訪問した県立大宮高校の教諭・生徒がシュトルペ州首相に知事の親書とともに目録を手渡す形で実施。
1997(平成9)年9月	本県の青年の代表(18名)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイや現地青年との交流、意見交換を実施。
1997(平成9)年10月	ブランデンブルグ州経済技術大臣一行(5名)が来県、知事を表敬訪問した後、理化学研究所を視察。
1998(平成10)年2月	シュトルペ ブランデンブルグ州首相一行(10名)が来県、知事との会談後に「共同署名」に署名。歓迎レセプションに出席したほか、さいたま新都心、県立大宮高校、富士写真光機(株)を視察。
1998(平成10)年 6月~7月	ブランデンブルグ州「シュテルン・センター」において、「埼玉フェア」を開催、オープニングに本県の総合政策部長が出席。
1998(平成10)年7月	知事を団長とする埼玉県ドイツ訪問団(5名)がブランデンブルグ州を訪問、シュトルペ ブランデンブルグ州首相との会談後、「会談議事録」に署名。「埼玉フェア」友好記念デーに出席。
1998(平成10)年 8月~9月	コト布斯第4ギムナジウム校の交流団(17名)が来県、8月31日に知事を表敬訪問。
1998(平成10)年9月	県内女性団体指導者等(23名)がブランデンブルグ州を訪問。ブランデンブルグ州労働福祉健康女性省のウィダーマン氏への知事親書を託す。女性NGO8団体との意見交換を行う。
1998(平成10)年9月	県議会特別行政視察団(4名)がブランデンブルグ州政府・議会を訪問。
1998(平成10)年9月	本県の青年の代表(18名)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイや現地青年との交流、意見交換を実施。
1999(平成11)年1月	本県副知事がブランデンブルグ州を訪問、シュトルペ ブランデンブルグ州首相等と本県との姉妹友好提携及び「ドイツにおける日本年」の本県参加事業等について協議。
1999(平成11)年8月	県立大宮高校の教員・生徒(計18名)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。
1999(平成11)年8月	知事を団長とする埼玉県・ブランデンブルグ州姉妹提携訪問団が



- 2000(平成12)年2月  
ノト ブランデンブルグ州経済開発振興公社総裁一行(3名)が来県、総裁による記念講演や経済関係者との意見交換を実施。
- 2000(平成12)年6月  
職員(2名)をブランデンブルグ州に派遣、今後の交流事業について協議、ドクター・コエヌマ顕彰記念除幕式に参加。
- 2000(平成12)年7月  
ブランデンブルグ州内のシンケル高校合唱団が来県、県内高校との交流、ホームステイ等を実施。
- 2000(平成12)年7月  
シェルター ブランデンブルグ州司法・ヨーロッパ担当大臣が来日、知事を表敬訪問。
- 2000(平成12)年  
8月～9月  
コト布斯第4ギムナジウムの交流団(17名)が来県、9月4日に知事を表敬訪問。
- 2000(平成12)年10月  
フルニス ブランデンブルグ州経済大臣一行(4名)が来県、知事を表敬訪問した後、さいたま新都心等を視察。
- 2001(平成13)年8月  
2001(平成13)年8月  
県議会欧州行政視察団がブランデンブルグ州政府・議会を訪問。県立大宮高校の教員・生徒(計17人)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。
- 2001(平成13)年9月  
レムデ ブランデンブルグ州廃棄物対策部長が来県し、廃棄物に関する分野の視察、本県職員との意見交換。知事を表敬訪問。
- 2001(平成13)年11月  
姉妹県州協定2周年を記念し、ブランデンブルグ州を本拠地として活動するフランクフルト国立管弦楽団が来県。埼玉県内4会場と都内1会場で公演を開催。
- 2001(平成13)年11月  
シュトルペ ブランデンブルグ州首相が来県。これまでの各分野における交流や協力の成果を生かし、事業の一層の充実を図るため、知事とともに共同声明に署名。また、県内で開催されたフランクフルト国立管弦楽団の演奏会に、知事とともに出席。
- 2001(平成13)年11月  
ブランデンブルグ州経済訪問団(9名)が来県。浦和商工会議所にて経済セミナーを開催し、ブランデンブルグ州経済のプレゼンテーション、県経済関係者との意見交換を実施。
- 2001(平成13)年11月  
ジークムント ブランデンブルグ州立コト布斯工科大学学長等(2名)が来県。埼玉大学学長と学術交流についての協議を実施。
- 2002(平成14)年3月  
埼玉大学と州立コト布斯工科大学が「学術交流に関する協定書」を締結。
- 2002(平成14)年  
4月～6月  
ワールドカップサッカー大会の開始を記念し、「わくわくサッカー絵画展」を開催。
- 2002(平成14)年7月  
県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問・教育・雇用・少子高齢社会対策行政視察団がブランデンブルグ州政府、議会を訪問。
- 2002(平成14)年  
8月～9月  
コト布斯第4ギムナジウムの交流団(17名)が来県、8月23日に知事を表敬訪問。
- 2002(平成14)年10月  
ストロンク ブランデンブルグ州経済開発振興公社総裁一行(4名)が来県、自動車関連企業の視察、本県職員との意見交換等を実施。
- 2002(平成14)年11月  
職員(3名)をブランデンブルグ州に派遣、今後の環境分野における学術交流について調査・協議等を実施。

2003(平成15)年8月	2002FIFAワールドカップ開催1周年記念埼玉国際ジュニアサッカー大会2003開催に当たり、ブランデンブルグ州チーム来県。
2003(平成15)年8月	県立大宮高校の教員・生徒(計17人)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。
2003(平成15)年11月	州立コト布斯工科大学から環境分野の特別研究員1名を招へい。
2003(平成15)年11月	ノイルッピン市と新座市の姉妹提携締結に当たり、両市長が知事を表敬訪問。
2003(平成15)年 12月～3月	州立コト布斯工科大学から環境分野の特別研究員1名を招へい。
2004(平成16)年 4月～6月	州立コト布斯工科大学から環境分野の特別研究員1名を招へい。
2004(平成16)年 8月～9月	コト布斯第4ギムナジウムの教員・生徒(計16名)が来県、ホームステイ等を実施。
2004(平成16)年11月	プラツェック ブランデンブルグ州首相がドイツの連邦参議院議長に就任。知事からお祝い状を送付。
2005(平成17)年 1月～3月	州立コト布斯工科大学から環境分野の特別研究員1名を招へい。
2005(平成17)年6月	フランクフルト国立管弦楽団の指揮者 浮ヶ谷孝夫氏が来県、知事を表敬訪問。ブランデンブルグ州首相が浮ヶ谷氏に託した書簡を知事が受け取る。
2006(平成18)年8月	コト布斯第4ギムナジウムの教員・生徒(計16名)が来県、ホームステイ等を実施。
2007(平成19)年5月	ユングハンス副首相兼経済大臣が来県。県立大宮高校を訪問。さいたま新都心を視察後、副知事と会談。県内印刷会社を訪問。
2007(平成19)年8月	県立大宮高校の生徒(15人)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。
2007(平成19)年10月	ゴルデ ノイルッピン市長、フランクフルト国立管弦楽団指揮者 浮ヶ谷孝夫氏が来県。知事を表敬訪問。
2007(平成19)年11月	埼玉県男女共同参画推進視察研修団がブランデンブルグ州を訪問。労働社会保健家族担当ツィグラール大臣にプラツェック ブランデンブルグ州首相あての知事親書を託す。フランクフルト国立管弦楽団の指揮者浮ヶ谷孝夫氏宅を訪問。ゴルデ・ノイルッピン市副市長らと会談。
2008(平成20)年8月	コト布斯第4ギムナジウムの生徒(15名)が来県、ホームステイ等を実施。
2009(平成21)年5月	フランクフルト国立管弦楽団の指揮者 浮ヶ谷孝夫氏が来県、知事を表敬訪問。知事からブランデンブルグ州首相あての書簡を浮ヶ谷氏に託す。
2009(平成21)年8月	県立大宮高校の生徒(15人)がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。知事からブランデンブルグ州首相あての書簡を託す。また、州首相から知事への書簡を託される。
2009(平成21)年11月	姉妹提携10周年を記念し、メキシコ州(30周年)、クイーンズランド州(25周年)記念も併せ、さいたま新都心けやきひろば

- で「姉妹州フェア」を開催（11月2日～3日）（「まなびピア埼玉2009」と同時開催）。記念ステージでは、同年ブランデンブルグ州で合唱コンサートを行った混声合唱団「カズンズコア・新座」が合唱を披露。また、ブランデンブルグ州関連出展ブースとして、2業者が出展。
- 2009(平成21)年11月  
2010(平成22)年8月  
2010(平成22)年  
10月～11月
- ブランデンブルグ州経済振興公社国際部長来県  
コト布斯第4ギムナジウムの生徒（13名）が来県、ホームステイ等を実施。（うち1名は長期留学生として3月19日～10月7日まで滞在）知事がブランデンブルグ州を訪問。マティアス・プラツェック州首相と会談し「姉妹交流に関する共同声明」に署名。ラルフ・クリストファース州経済・欧州担当大臣と会談し、地域レベルの経済交流について意見交換。州企業経営者に対し、プレゼンテーションを実施し、埼玉県のビジネス環境をPRした。  
また、バイオマス発電所や太陽熱を利用した共同住宅など、再生可能エネルギーの導入施設を視察した。  
埼玉県議会ブランデンブルグ州友好親善訪問団(14名)、埼玉県経営者協会社会視察団(18名)、女性リーダー海外研修団(16名)が現地で合流した。
- 2011(平成23)年5月  
2011(平成23)年7月  
2012(平成24)年7月  
8月  
2013(平成25)年12月  
2013(平成25)年8月  
2014(平成26)年9月  
2015(平成27)年7月  
2015(平成27)年8月  
2015(平成27)年9月  
2016(平成28)年8月  
2017(平成29)年7月
- フランクフルト国立管弦楽団の指揮者 浮ヶ谷孝夫氏が来県、知事を表敬訪問。クリストファース州経済欧州担当大臣相が浮ヶ谷氏に託した書簡を知事が受け取る。  
東日本大震災で被災し埼玉県に避難中の福島県双葉町に、ブランデンブルグ州が、フランクフルト国立管弦楽団のチャリティーコンサートで集まった義援金約700万円を贈呈。埼玉県庁に、同楽団の指揮者 浮ヶ谷孝夫氏と井戸川克隆 双葉町長を招き義援金贈呈式を行った。  
県職員1名をブランデンブルグ州政府に研修派遣  
コト布斯第4ギムナジウムの生徒(15名)が来県、ホームステイ等を実施。  
州経済振興公社副総裁が率いる企業訪問団が来県。  
県立大宮高校の生徒（15人）がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。  
コト布斯第4ギムナジウムの生徒(15名)が来県、ホームステイ等を実施。  
州法務・欧州・消費者保護省部長が来県。  
県立大宮高校の生徒（15人）がブランデンブルグ州を訪問、ホームステイ等を実施。  
県立大宮高校の生徒（1人）がブランデンブルグ州コト布斯第4ギムナジウムに留学（約6か月間）。  
コト布斯第4ギムナジウムの生徒15名が来県、ホームステイ等を実施。  
県立大宮高校の生徒（15人）がコト布斯第4ギムナジウム校を訪問。

- 2017(平成29)年10月 マリオ・トビアス ポツダム商工・産業会議所企業訪問団が来県。県民生活部長を表敬訪問したほか、彩の国資源循環工場を視察。
- 2017(平成29)年11月 ロベルト・ブッシュ ブランデンブルグ州地域スポーツ連盟理事を団長とする訪問団が来県。県スポーツ局長を表敬訪問したほか、埼玉スーパーアリーナ、埼玉スタジアム2002などを視察。
- 2018(平成30)年7月 プロラで開催されたワールドストリートサッカー国際大会に県代表男女各1チームを派遣。アジア初出場、女子3位、男子6位。
- 2018(平成30)年8月 ライナー・クナイフェル・ハヴァーカンフ 法務・ヨーロッパ・消費者保護省 国際部渉外課事務次官を表敬訪問。
- 2018(平成30)年9月 コト布斯第4ギムナジウム生徒15名が来県、ホームステイ等を実施。
- 2019(平成31)年3月 ステファン・ルートヴィヒ 州法務・ヨーロッパ・消費保護省大臣が来県。知事を表敬訪問したほか、獨協大学を訪問。
- 2019(令和元)年6月 ロベルト・ブッシュ ブランデンブルグ州地域スポーツ連盟理事を団長とする訪問団が来県。県民生活部長を表敬訪問したほか、秩父市長を表敬訪問し、県内大学を視察。
- 2019(令和元)年8月 姉妹提携20周年及び本県でのラグビーワールドカップ2019を実施を記念し、ポツダムで開催されたラグビー親善試合「サンサーシ・カップ・フレンドリーマッチ2019」に公募で選ばれた東洋大学ラグビー部チームを派遣。ステファン・ルートヴィヒ
- 2019(令和元)年9月 州総務・ヨーロッパ・消費者保護大臣を表敬訪問。
- 2019(令和元)年11月 県立大宮高校の生徒(15人)がコト布斯第4ギムナジウム校を訪問。
- 2020(令和2)年7月 本県でのラグビーワールドカップ2019開催にあわせ、ブランデンブルグ州青少年ラグビー訪問団が来県。試合を観戦するほか大東文化大学や東洋大学等を訪問し、ラグビー交流を実施。
- 2020(令和2)年11月 姉妹提携20周年を記念し、獨協大学で日独シンポジウムを開催。「日独両国の更なる協力の可能性と自治体の役割」をテーマに、
- 2022(令和4)年3月 クラウス・フィーツェ駐日ドイツ大使館首席公使、ライナー・クナイフェル・ハヴァーカンフブランデンブルグ州財務・ヨーロッパ省国際局長等が講演し、学生など約250名が来場。同シンポジウムにあわせて訪問団が来県しブランデンブルグ州展示会を開催。
- オリムピック・パラリンピック大会に合わせたブランデンブルグ州青少年スポーツ交流訪問団の受入れが新型コロナウイルスの影響で令和3年度へ延期。
- 在日ドイツ大使館職員が県立大宮高校で講演を実施。
- ブランデンブルグ州と共同し、「日独ウェビナー」を開催。
- ライナー・クナイフェル・ハヴァーカンフブランデンブルグ州財務・ヨーロッパ省国際局長による講演や、現地在住ガイドによる州都ポツダムのバーチャルツアーを行った。
- 2023(令和5年)3月 ブランデンブルグ州と共同し、「ドイツを知るウェビナー」を開催。
- ライナー・クナイフェル・ハヴァーカンフブランデンブルグ州財務・ヨーロッパ省国際局長によるニュース解説や、ヴィットシュトックの街並み紹介を行った。

※ 地名、職名等は当時のものです。

# 埼玉県立大宮高等学校と姉妹校提携を結ぶ コトブス第4ギムナジウムの紹介

## 1 名称

ルードヴィヒ・ライヒハート・第4ギムナジウム  
(コトブス第4ギムナジウム)

ルードヴィヒ・ライヒハート (Ludwig Leichhardt) は、19世紀にこの地で育った科学者の名前から採ったもの。

## 2 校長

Mr. Lutz Wegener (ルッツ・ヴェゲナー氏)

## 3 歴史

1975年 創立

1991年 ギムナジウム (ドイツ中等教育制度の一つ、主として大学進学希望者が就学する) として再開校。

## 4 規模

- ・ 生徒数 約600人
- ・ 教員 約50人

## 5 特徴

- ・ 大半の生徒が大学に進学。
- ・ 身体障害者に配慮した教育の充実に力を入れている。

(参考) コトブス市について

- ・ ブランデンブルグ州南東部の都市。
- ・ 人口約10万人。
- ・ ドレスデン、ベルリンから車で1時間。
- ・ 主な産業は、炭坑採掘、火力発電、織物。

## 2022(R4)年度 ブランデンブルグ州との交流事業実績

交流項目	交流事業内容（人数、期日）【担当課】	派遣	受入	その他
教育交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コトブス第4ギムナジウムからの生徒の受入れ （短期留学）14人、3/16～3/28</li> <li>【高校教育指導課、県立大宮高校】</li> </ul>		○	
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック大会に合わせた 青少年スポーツ交流訪問団の受入れ</li> <li>州内青少年22人他、引率2名、7/17～19</li> <li>【国際課】</li> </ul>	中止		

## 2023(R5)年度 ブランデンブルグ州との交流事業予定

交流項目	交流事業内容（人数、期日）【担当課】	派遣	受入	その他
教育交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コト布斯第4ギムナジウムへの生徒の派遣</li> </ul> <p>【高校教育指導課、県立大宮高校】</p>	○		

## 関係機関一覧

機 関 名	連 絡 先
ブランデンブルグ州政府 財務・欧州省	住所 Heinrich-Mann-Allee 107, 14473 Potsdam, Brandenburg, Germany 電話 +49 331 866 0 FAX +49 331 866 6888 <a href="http://www.brandenburg.de/">http://www.brandenburg.de/</a>
在日ドイツ大使館	住所 〒106-0047 東京都港区南麻布4-5-10 電話 03-5791-7700 (代表) FAX 03-5791-7773 (代表) <a href="http://www.tokyo.diplo.de/">http://www.tokyo.diplo.de/</a>
ドイツ観光局日本事務所	住所 〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館4F 電話 03-3586-5046 (案内) FAX 03-3586-5079 <a href="https://www.germany.travel/en/home.html">https://www.germany.travel/en/home.html</a>
外務省欧州局中・東欧課	住所 〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1 電話 03-3580-3311(内線3532) <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/">http://www.mofa.go.jp/mofaj/</a> (外務省ホームページ)
在ドイツ日本大使館	住所 Hiroshimastr. 6, 10785 Berlin, Germany 電話 +49-30-21 094-0 FAX +49-30-21 094-222 <a href="http://www.de.emb-japan.go.jp/nihongo/">http://www.de.emb-japan.go.jp/nihongo/</a>
埼玉県県民生活部国際課	住所 〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-2713 (直通) FAX 048-830-4748 <a href="http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/index.html">http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/index.html</a>







ブランデンブルグ州の州章

## ブランデンブルグ州との交流の概要

令和5年3月

発行：埼玉県県民生活部国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL:048-830-2713 FAX:048-830-4748

E-mail : a2705-09@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0306/index.html>